製品安全データシート　SDS　　　製品名：　アポロ（樹脂ワックス）

改定日　2024/07/04　　整理番号101-100

1. 化学物質等及び会社情報

発売元	：	株式会社文化雑巾
住　所	：	埼玉県鴻巣市広田3538
電話番号	：	048-578-8953
FAX番号	：	048-578-8954
緊急連絡先	：	同上

２．危険有害性の要約

GHS分類

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
水生環境有害性（急性）	分類できない
水生環境有害性（慢性）	分類できない

爆発物	分類対象外
引火性液体	区分外
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

記載の無いものは、分類できない、分類対象外、または区分外。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル	：	なし
注意喚起語	：	なし
危険有害性情報	：	なし

３．組成、成分情報

化学名	CAS 番号	含有量
金属架橋型アクリル樹脂	非開示	非開示
高融点ポリエチレンワックス	非開示	非開示
アルカリ可溶性樹脂	非開示	非開示
成膜助剤	非開示	非開示
可塑剤	非開示	非開示
防腐剤	非開示	非開示
水	非開示	非開示

シックハウス、シックスクール疑惑物質（厚生労働省指針値対象物質 13 品目）　:　非該当

学校環境衛生基準該当物質（文部科学省）　:　非該当

環境ホルモン疑義物質　:　非該当

化学物質管理促進法（PRTR 法）　:　非該当

４．応急措置

吸入した場合　:　気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移し安静・保温に努め、速やかに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合　:　付着した部位を多量の水で洗い流す。
汚染した衣類は直ちに脱ぎ、衣類と皮膚に付着した液を多量の水で洗い流す。
炎症、痛みなどがあれば、医師の診断を受ける。

目に入った場合　:　眼に入った場合：水で 15 分以上注意深く洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合　:　直ちに、口、喉を水で洗い、多量の水を飲ませ（この時、無理に吐かせない）直ちに医師の診断を受ける。
いずれの場合も医師への受診時には、安全データシート(SDS)を持参する。

５．火災時の措置

消火剤　:　水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般消火剤が使用できる。

消火方法　:　本製品は不燃物であるが、周辺火災の場合には速やかに安全な場所に移す。

消火を行う者の保護　:　適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
:　必要に応じて、保護眼鏡、保護手袋等の保護具を着用する。

環境に対する注意事項
:　雨水溝、河川、海上などに排出されないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材：少量の場合は、ウエス、モップ、吸着マット、砂等で吸着させ空容器に回収する。大量の場合には土のう等で流出を防いだ上でポンプを用いて吸い取る。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　:　取扱い場所の近くに、洗眼および、身体洗浄の設備を設置する。

注意事項　:　眼および皮膚（髪）への接触を避ける。

安全取扱注意事項　:　保護眼鏡、保護手袋など、適切な保護具を着用する。

保管

適切な保管条件　：　直射日光、40℃以上、多湿および凍結の恐れのある場所を避け、換気の良い冷暗所に密閉保管する。
食品、飲料水、動物の餌から離しておく。

８．暴露防止及び保護措置

設備対策　：　蒸気が滞留しないように局所換気装置または全体換気装置を設置する。

管理濃度　：　設定されていない

許容濃度　：　設定されていない

保護具　：　適切な呼吸器保護具、保護眼鏡、保護手袋、保護衣を着用する。

衛生対策　：　取扱い後はよく手を洗うこと。

９．物理的及び科学的物質

外観（物理的状態、形状、色など）

形状　：　液体

色　：　乳白色

ｐH　：　8.5（±0.5）

比重　：　1.04

臭い　：　データなし

粘度　：　データなし

溶解度　：　水に任意に溶解

凝固点　：　0℃以下

沸点　：　約100℃

引火点　：　データなし

１０．安定性及び反応性

安定性　：　常温及び、通常の保存条件下で安定。

危険有害反応性　：　データなし

避けるべき条件　：　直射日光、40℃以上、多湿、凍結条件下。

混触危険物質　：　データなし

危険有害な分解生成物　：　データなし

１１．有害性情報

急性毒性　：　経口：混合物判定理論LD50推定値ＡＴＥmixが2,000㎎/kgを超えるため区分外とした。

経皮　：　データ不足のため分類できない。

吸入　：　データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性及び刺激性　：　データ不足のため分類できない。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性　：　データ不足のため分類できない。

呼吸器感作性　：　データ不足のため分類できない。

皮膚感作性　：　データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性　：　データ不足のため分類できない。

発がん性　：　データ不足のため分類できない。

生殖毒性　：　データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）　：　データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）　：　データ不足のため分類できない。

吸引性呼吸器有害性　：　データ不足のため分類できない。

１２．環境影響情報

水生環境有害性（急性）　：　データ不足のため分類できない。

水生環境有害性（慢性）　：　データ不足のため分類できない。

生態毒性　：　データなし

生態蓄積性　：　データなし

残留性・分解性　：　データなし

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　：　下水道以外の河川等、公共水域への排出は絶対に避ける。
少量の場合は、水で十分に希釈しながら下水道に廃棄する。
大量の場合は、内容を明示した上都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

汚染容器及び包装　：　空容器は清浄にしてリサイクルするか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

14、輸送上の注意

国際規制

国連分類（Class）　：　国連の基準で評価して危険物に非該当。

国連番号（UN　No.）　：　国連の基準で評価して危険物に非該当。

国内規制

陸上輸送　：　消防法　非危険物

海上輸送　：　船舶安全法　非危険物（個別運送およびバラ積み運送において）。

航空輸送　：　航空法　非危険物

輸送の特定の安全対策及び条件

：　容器の破損、腐食、漏出等がない事に注意・確認し、転倒、落下、破損がないような積載方法、荷崩れの防止を確実に行う。

１５．適用法令

国内適用法令

労働安全衛生法	:	該当しない
化学物質管理促進法	:	該当しない
毒劇物取締り法	:	該当しない
消防法	:	該当しない
船舶安全法	:	該当しない
航空法	:	該当しない
海洋汚染防止法	:	該当しない

１６．その他情報

特記事項なし

このデータは作成の時点においての知見によるものですが、必ずしも十分ではありません。
何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分ご注意ください。